

大空に翔ける



令和5年度 日之影中学校だより



12月号
校長
藤田 雅元

2年生 職場学習 実施！

2年生（24名）は、11月20日（月）から21日（火）の2日間、職場学習を行いました。職場学習の目的は、①各職場の見学や実習を通して、働くことの意義や職業に対する意識を高め、望ましい「職業観」を養い、今後の中学校生活において、より一層意欲的に学習に取り組む態度を育てること。②職場でたくさんの人と接することを通して、人間関係の大切さや人として生きていく上での資質を高めること。③各職場で実際に働くことを通して、勤労の尊さや喜びを肌で感じ取らせ、保護者をはじめ身近な人々の仕事を理解する機会とすること。でした。この2日間で生徒の皆さんは、学校ではできない貴重な多くの学びがありました。この学びを、来年2月2日（金）に参観日で発表します。



【一心園】



【道の駅 青雲橋】



【マロンハウス】



【日之影保育園】



【ひのかげアグリファーム】



【旬果工房てらす】



【西臼杵森林組合日之影支所】



【しいの実保育園】

この職場学習の受け入れに当たり、企画・事前準備、当日の対応等、きめ細かに御配慮いただきました8事業所の方々に対し、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

NHKアナウンサーが来て 防災授業実施！

11月28日（火）に片山 智彦NHKアナウンサーが来校され、防災授業を行いました。片山アナウンサーはNHKおはよう日本アナウンサーとしてご活躍されております。日之影中生徒のために、東京からお越しいただきました。ご自身がご経験された阪神淡路大震災（平成7年1月17日5時46分頃発生）、東日本大震災（2011年3月11日14時46分頃発生）をもとに、今後、起こりうると思われる南海トラフ巨大地震や様々な災害が発生した時に、どのように言葉で伝えるのかを分かりやすくお話していただきました。言葉で伝えるときの注意点として、①具体的に伝えること②安心感を与えるように伝えること ③みんなで乗り越える雰囲気をつくこと をおっしゃいました。いつ、どこで起こるのか全く分からない災害に対し、「人と人を繋ぐ言葉の大切さ」を学ぶ貴重な時間となりました。また、昼休み時間には、放送部員の皆さんが電撃訪問し、楽しいひと時を過ごしました。



作家 重松 清 さん特別授業 参加！

11月27日（月）に片直木賞作家 重松 清さんによる特別授業に参加しました。これは、高千穂高校が主催し、合同参加させていただきました。その授業では、高校生や中学生の代表20人がステージに上がり、本校からは、津隈 絢音さん、馬崎 タ姫南さんが代表として登壇しました。重松さんと地域の魅力や人のやさしさなどについて意見を交わしました。生徒が雲海の名所・国見ヶ丘について雨の日もきれいだと紹介すると、重松さんは、

「もしかしたら雨の日じゃないと見えない、美しさってあるかもしれない。東京が一番で宮崎県は何番目みたいな感じの決めつけ方をしてしまっってはもったいない。」また、「生徒たちに自分や大好きな人たちの魅力を言葉で表現してほしい。」とメッセージを送りました。さらに、

「ひとつひとつの言葉、大切に丁寧に使ってください。それが自分自身を大切にすることだと思います。」とありました。言葉のもつエネルギーに心震え、力強いエールをいただいたひと時でした。

キラキラ



10月6日（金）に実施した近未来会議において、「中学生によるボランティア活動の推進」が提言されました。その提言を受け、早速、3年生を中心としたボランティア活動が進んでいます。

「第21回ひのかげ福祉まつり」
「おかげさまで ひのかげライド」